

第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

- 1 はじめに ～山口大学は知財教育の拠点大学～
- 2 人材育成事例 ～教材・指導例～
 - (1)高校生向けセミナー教材
 - (2)「知的財産入門」・学部1年生向け
 - (3)農業と知的財産
 - (4)標準化と知的財産
 - (5)技術経営と知的財産
- 3 まとめに代えて ～学生の変化と社会人向けへの展開～

山口大学 知的財産センター
陳内 秀樹

第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

- 1 **はじめに** **～山口大学は知財教育の拠点大学～**
- 2 人材育成事例 ～教材・指導例～
 - (1)高校生向けセミナー教材
 - (2)「知的財産入門」・学部1年生向け
 - (3)農業と知的財産
 - (4)標準化と知的財産
 - (5)技術経営と知的財産
- 3 まとめに代えて ～学生の変化と社会人向けへの展開～

山口大学 知的財産センター

陳内 秀樹

はじめに 山口大学は知財教育の拠点大学 (文科省認定)

背景・課題

- ◆日本の国際社会における産業競争力の低迷
- ◆経済社会の知財戦略を支える裾野人材の不足
- ◆知的財産マインドの未醸成

国際競争力 再建策

※2002年「**知的財産立国**」宣言

「知的財産戦略大綱」の人材育成・教育に部分
(2002年7月3日知的財産戦略会議)

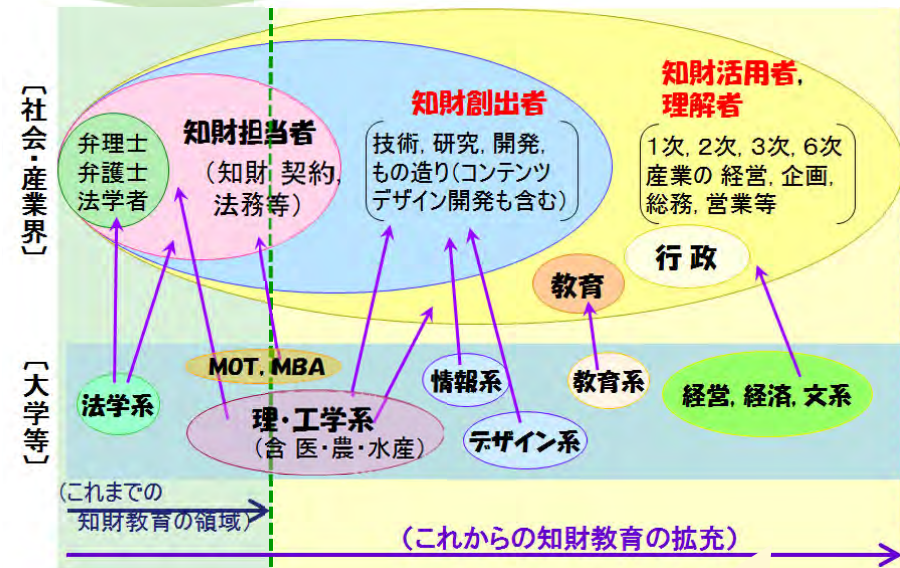
(2章 基本的方向より)

- ・**専門家の養成**(法科大学院における知的財産法教育の充実)
- ・大学・公的研究機関等には、研究開発から事業化までを見通して管理する知識・能力をも有する人材が必要
- ・知的財産立国の実現には**知的財産創造の担い手育成**
(第3章 具体的行動計画より)
- ・**初等・中等教育**における知的財産に関する教育の推進
- ・**大学生一般**に対する**知的財産教育**の推進

知的財産に関する高度専門人材の育成

(知的財産専門職大学院)

- 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 技術経営専攻
- 金沢工業大学 KIT虎ノ門大学院 「知的創システム専攻」
- 東京理科大学大学院 イノベーション研究科 「知的財産戦略専攻」
- 大阪工業大学 知的財産専門職大学院 など



これからの知財教育の拡充と方向性

文系理系を問わず
専門性や必要性に適合した
知的財産に関する知識やその利活用スキル
を社会の発展に役立つよう駆使できる
知的財産創造の担い手の育成が必要

これまでは?
選択や専門科目で断片的に...
主に理工系が対象...
=十分ではなかった

知財センター実務と、
工学部と技術経営研究科の
知財教育を基にして...

山口大学 全国初の
知財教育**全学必修化**(2013~)
「知的財産入門」

1年生2000人に知財教育を実施
展開科目15科目+大学院も知財必修化

山口大学 教職員の組織的な研修等の共同利用拠点（知的財産教育）

<学部生対象>

全学必修(1単位)

「**知的財産入門**」～※※学部生のための知的財産入門～」

条文・判例ベースのアプローチ

知的財産
展開科目
(各1単位)

「特許法」
「意匠法」
「商標法」
「著作権法」
「不正競争防止法」
「種苗法」
「情報法と知的財産」

活用ベースのアプローチ

知的財産
展開科目
(各1単位
※のみ2単位)

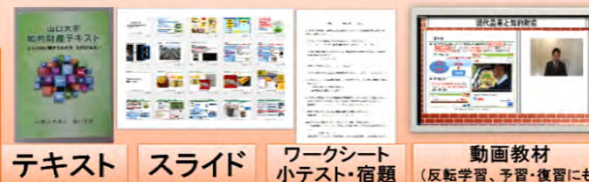
「ものづくりと知的財産」※
「**農業と知的財産**」
「コンテンツ産業と知的財産」
「知財情報の分析と活用」※
「**標準化と知的財産**」
「**技術経営と知的財産**」
「知的財産管理論」
「著作権と市民社会」

<院生対象>

創成科学研究科必修(1単位)

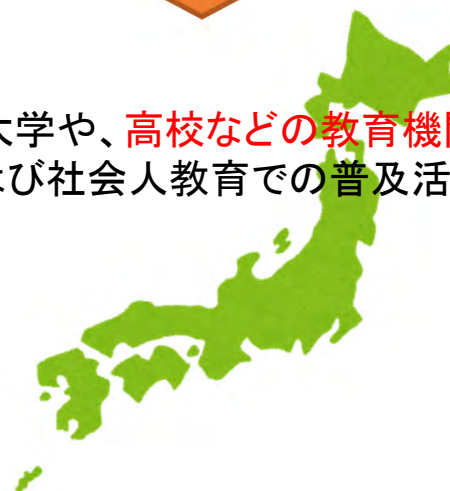
「知的財産特論」

教材と指導法のパッケージ化



テキスト スライド ワークシート
小テスト・宿題 動画教材
(反転学習、予習・復習にも)

他大学や、**高校などの教育機関**
および社会人教育での普及活用



※赤字で示した箇所の教材例を今回紹介する。

※その他、経済学部、国際総合科学部、工学部などに学部専門科目として知的財産を扱う科目あり

第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

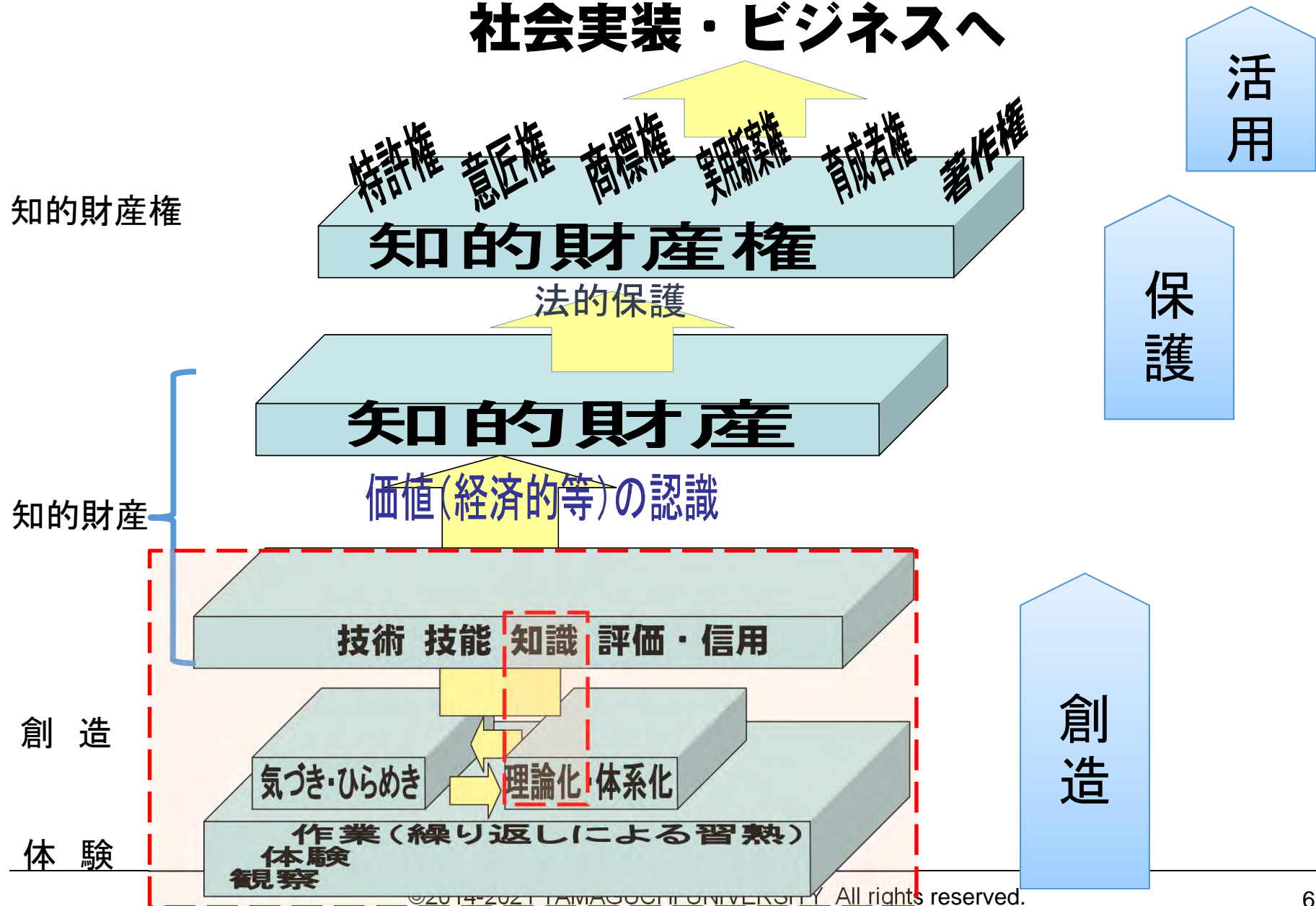
- 1 はじめに ～山口大学は知財教育の拠点大学～
- 2 **人材育成事例** ～教材・指導例～
 - (1) **高校生向けセミナー教材**
 - (2) 「知的財産入門」・学部1年生向け
 - (3) 農業と知的財産
 - (4) 標準化と知的財産
 - (5) 技術経営と知的財産
- 3 まとめに代えて ～学生の変化と社会人向けへの展開～

山口大学 知的財産センター

陳内 秀樹

重要用語の定義と課題認識について

社会実装・ビジネスへ



高校生向けセミナー教材

知的財産を生み出すために大切なことは何ですか？



34 B 31

特 許 庁
特 許 公 報

特 許 出 願 公 告
昭35-16975

公告 昭 35.11.16 出願 昭 34.1.22 特願 昭 34-1918

発 明 者 安 藤 須 磨 池田市呉服町1の794
出 願 人 日 清 食 品 株 式 会 社 高槻市大字西五百住465
代理人 弁理士 鎌 田 嘉 之

(全3頁)

即 席 ラ ー メ ン の 製 造 法

特 許 請 求 の 範 囲

本文に詳記する如く小麦粉を主材とし之にカン水、塩水、油、生姜汁液、鶏卵等の添加諸材を加えた原料を混練して製麺機等により可及的細薄麺条を形成して蒸熱後冷風供給下に油液の噴霧注加の下に解きほぐし、別に鶏骨スープ等の動植物スープを基体とし之に動植物質調味材及び化学調味材更に香料等を添加して濃縮調製した調味液を加温したものを前記麺条群に再び冷風供給下に噴霧注加して浸透保有させ之を折損せぬ程度に予備乾燥し該味付麺条群を動物性の高温油液中にて瞬間揚処理を行なうと共に油切り乾燥することを特徴とする即席ラーメンの製造法。

味付麺条群を動物性の高温油液中にて、瞬間揚処理を行なうと共に、油切り乾燥することを特徴とする即席ラーメンの製造方法

日常の心構え

= 知財は「知識」より「意識」 ©佐田洋一郎

身の回りは知財で溢れている

商品は知的財産の集合体

特許権

実用
新案権

商標権

意匠権

● 刃先をポキポキ折る構造

※考案(小発明)として、実用新案権を取得
(実公昭36-02671、出願日:S34.2.19)



● 刃のスライドロック機構

※発明として、特許権を取得
(特公昭37-17050、出願日:S36.3.24)



※万能L型(S57年(1982年))、本体価格¥550

● カッターナイフのデザイン

※意匠(物品の形状等)として、意匠権を取得
(意匠登録第0511708号、出願日:S51.5.21)

● 「OLFA」という商品名やロゴ

※商標(標章+商品や役務)として、商標権を取得
(商標登録第784404号、出願日S42.4.17)

第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

- 1 はじめに ～山口大学は知財教育の拠点大学～
- 2 人材育成事例 ～教材・指導例～
 - (1)高校生向けセミナー教材
 - (2)「知的財産入門」・学部1年生向け**
 - (3)農業と知的財産
 - (4)標準化と知的財産
 - (5)技術経営と知的財産
- 3 まとめに代えて ～学生の変化と社会人向けへの展開～

山口大学 知的財産センター

陳内 秀樹

知的財産入門の授業内容

	項目	内容
第1週	知的財産の全体像	数多く存在する知的財産の全体像 知的財産に関する身近な話題と知財の観点からの検討
第2週	著作権の基礎知識	著作権法の概要
第3週	著作権法に定められた権利	著作権法に定められた著作者の権利 著作物を伝達する者の権利
第4週	著作権の権利制限・研究者マナー	著作権法に定められている権利制限規定 研究者倫理と著作権
第5週	産業財産権の基礎知識(主に特許制度) 知財情報検索・解析・活用(e-learning)	産業財産権制度の概要(特に特許権) 特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)の概要と検索方法
第6週	意匠制度	物品等のデザインを保護する意匠制度について
第7週	商標制度	商品・役務の識別機能を担う商標制度について
第8週	総括と期末試験	期末試験

知的財産入門

どちらを飲みたいと思いますか？

商標なし



商標あり



私たちは、
何で商品
を選んで
いる？



実は、商標で商品を選んでる！ 正確には「商標に化体した信用」で

商標権を取得するための要件(商標法3条1項1号～6号)

● 自他商品・役務に識別機能がないものは、商標登録を受けることができない

①商品又は役務(サービス)の普通名称

- 例)商品「自動車」に、標章「車」での登録 ×
- 役務「美容」に、標章「美容」での登録 ×
- 商品「お茶」に、標章「お茶を単に読み上げに過ぎない音」での登録 ×

②慣用されている標章(=同業者間で普通に使用されるに至った結果、自己の商品又は役務と他人の商品又は役務とを識別することができなくなった標章)

- 例)商品「清酒」に、標章「正宗」での登録 ×
- 役務「興業所の座席の指定」に、標章「プレイガイド」での登録 ×
- 役務「中華そばの提供」に、標章「夜鳴きそばのチャルメラの音」での登録 ×

③商品の産地、販売地、品質その他の特徴等の表示又は役務の提供の場所、質その他の特徴等の表示

- 例)商品「りんご」に、標章「青森」での登録 × ※標章「青森ゴールド」もダメ(生産地+品位・等級の表示にすぎない)
- 商品「自動車」に、標章「デラックス」での登録 × ※商品の品質の表示にすぎない
- 商品「ブラウス」に、標章「シルク」での登録 × ※商品の原材料の表示にすぎない
- 役務「自動車による輸送」に、標章「関東一円」での登録 × ※役務の提供の場所の表示にすぎない
- 役務「入浴施設の提供」について、標章「疲労回復」での登録 × ※役務の効能の表示にすぎない
- 商品「炭酸飲料」について、標章「『シュワシュワ』という泡のはじける音」での登録 ×

第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

- 1 はじめに ～山口大学は知財教育の拠点大学～
- 2 人材育成事例 ～教材・指導例～
 - (1)高校生向けセミナー教材
 - (2)「知的財産入門」・学部1年生向け
 - (3)農業と知的財産**
 - (4)標準化と知的財産
 - (5)技術経営と知的財産
- 3 まとめに代えて ～学生の変化と社会人向けへの展開～

山口大学 知的財産センター

陳内 秀樹

「農業と知的財産」の授業内容

1単位(90分×8コマ)

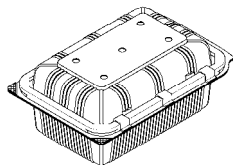
	A 知財の知識	B 事例から学ぶ戦略的知財活用
1 基礎 ↓	<p>ガイダンス 現代農業と知財</p>	<p>農業分野での商品開発とその販売戦略 ～新品種、伝統野菜、農産物のブランド化と6次産業化～</p>
2 展開 ① ↓	<p>知的財産から見る農業の歴史と将来</p>	<p>農業技術の創造・保護・活用</p>
3 展開 ② ↓	<p>品種登録制度 と GAPによる標準化</p>	<p>農業に関する知財係争の実際 ～農業資材の「特許権侵害差止等請求事件」等～</p>
4 発展	<p>農業のグローバル化と 知的財産に関連するその他の法制度</p>	<p>ケーススタディ (6次産業化と農機具開発の事例から) と 農業と表現(著作権)</p>

現代農業と知的財産権の関わり 例：イチゴ

意匠権

包装用容器

第1307309号



(積水化成品工業株式会社)



商標権

第4615573号

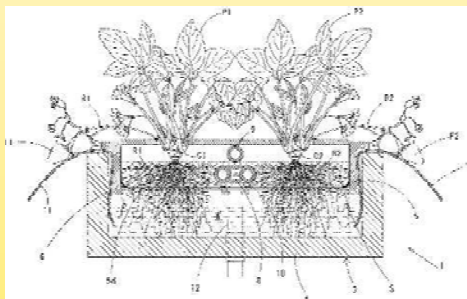
あまおう

甘王

(全国農業協同組合連合会)

特許権

植物栽培装置及び果実冷却用シート 第5020892号



((株)ナチュラル・ステップ)

育成者権

とちおとめ

登録5248号

(栃木県)

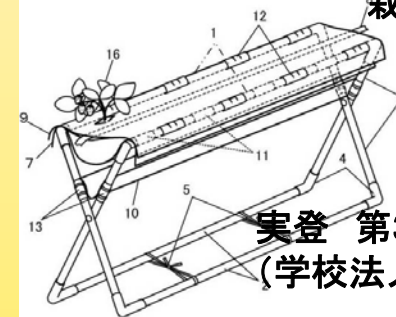
著作権

栃木発信 ご当地アイドル とちおとめ25

JA全農栃木 <http://www.tochigi15.jp/tochiotome/>

実用新案権

栽培用ベンチ



実登 第3160923号

(学校法人 拓殖大学)

現代農業と知的財産権の関わり

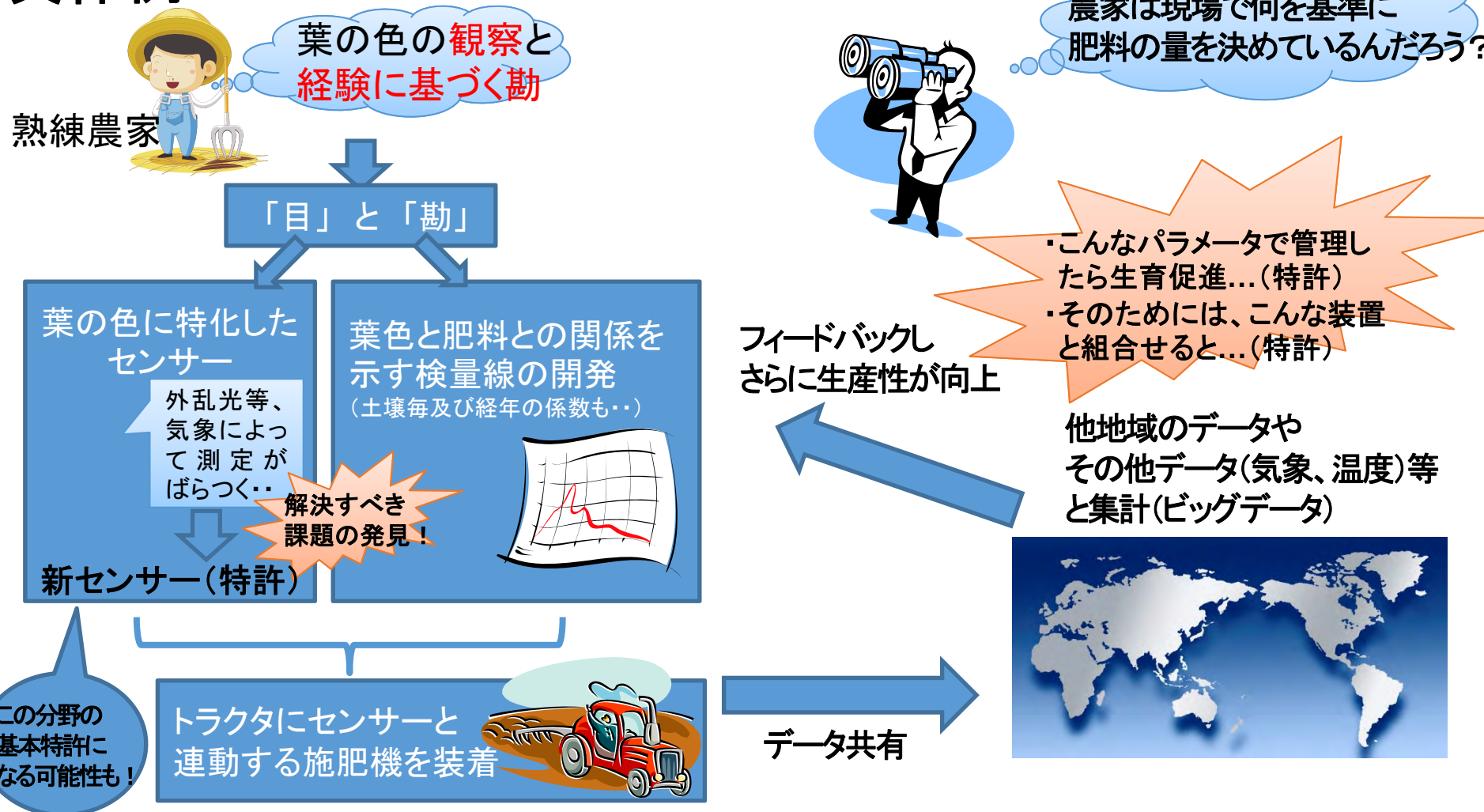
例：農村地域



AI (アグリインフォマティクス 農業情報科学)

AIとは・・・熟練農家の「判断能力」を継承するためのシステム

具体例



観察するとは？

光合成のためには、葉にゆっくりと風が当たる方がいいと、授業で習った。【知識】



もし、風の流れが変わるければ、光合成の効率が悪いはずだ。

【仮説】

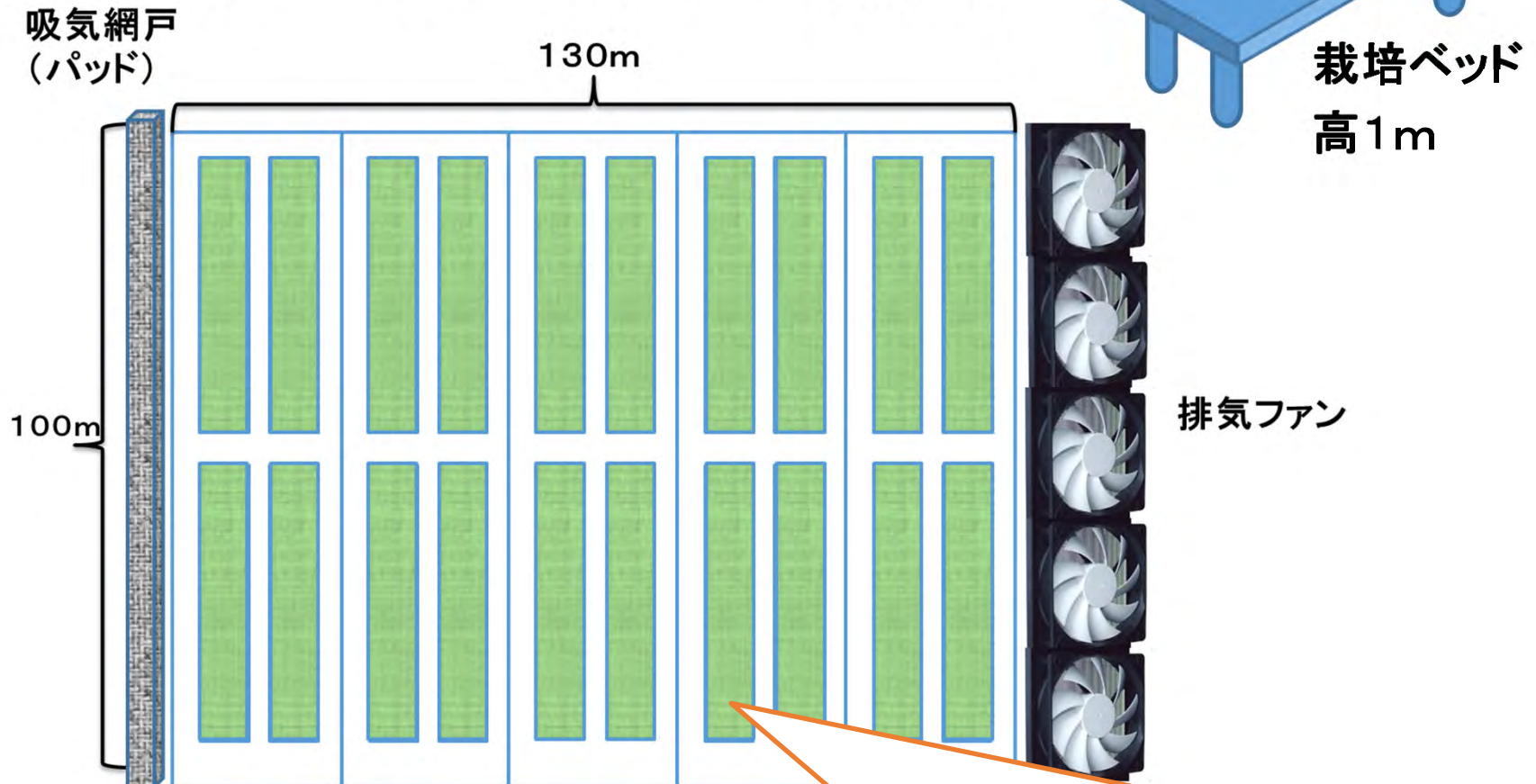


この温室の中の風はどうなっているんだろう？【疑問】



観察するとは？

風は、どのように流れる？【仮説】

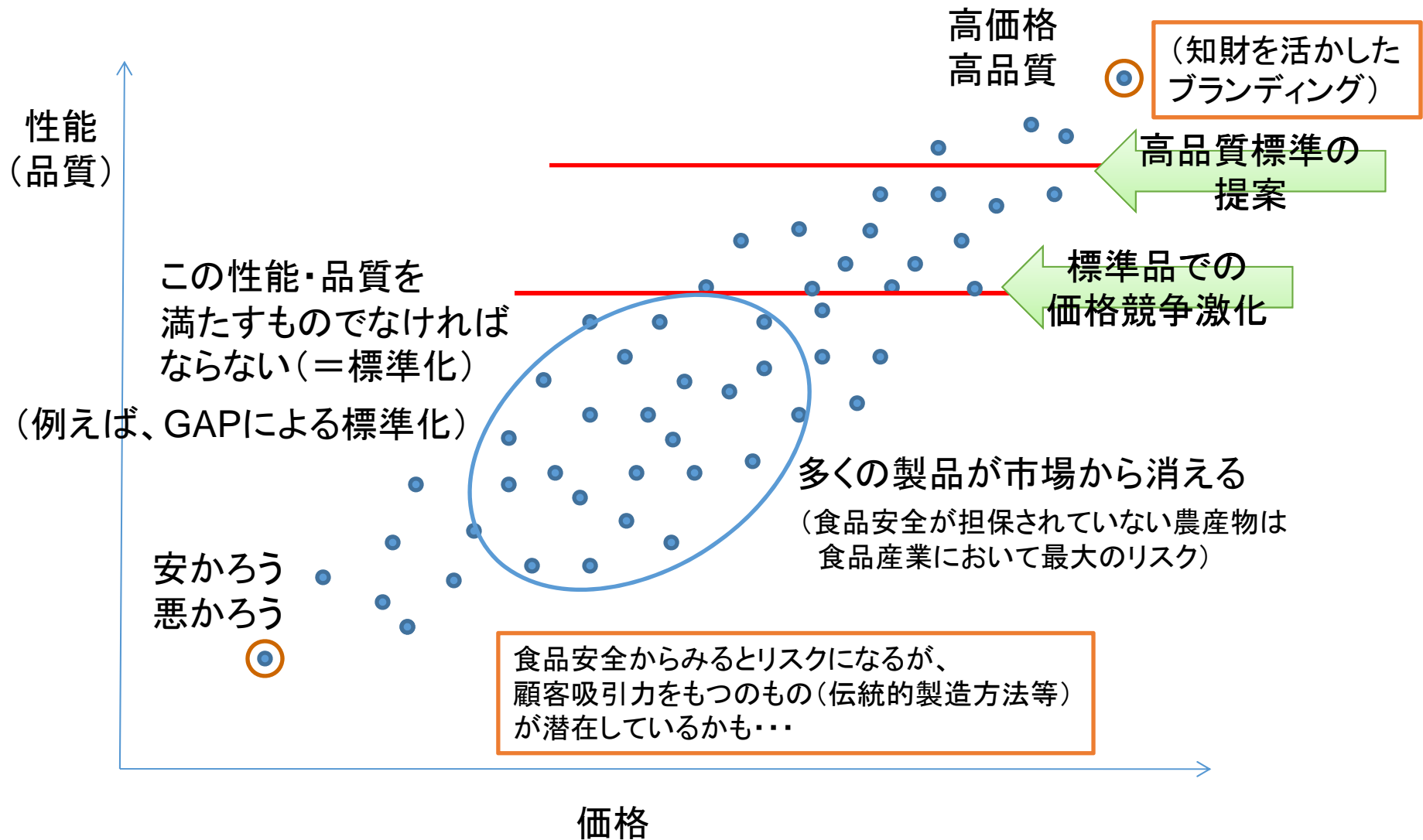


観察は「気づく」ためにしている。

- ①観察 : 5感で、気づく
- ②スケッチ : 時間をかけて詳しく見て、特徴に気づき強調する
- ③測定 : 5感で気づけないことに気づく

GAPだけでは勝てない

製品標準化によるビジネス効果モデル



参考『標準化とビジネス』江藤学 / 辻田美紗 / 佐々木通孝

価値あるものを失わないために・・・

ワインは農産加工品…

なぜ、1本は数十万円でも

売れるの？

■ 例:ワイン

- 年月:ワインに表記されている「年号」。2019年もの。数年後は? 10年、30年後は?
- 産地:ボルドー産のワイン。名が知られていない産地のワイン。
- 栽培:有機ブドウで作られたワイン、そうでないワイン。
- 醸造:天然醸造のワイン。薬品が使われているワイン。
- ブランド:有名な蔵元のワイン。そうでないワイン。
- 伝統製法:雨水のみしかやらないことをウリにするものも...

マスプロダクト
VS
アンチ・マスプロダクト
(非大量生産品)

➤元々の形は雨水。それが農業の中で、錬金術的に価値が増大。



■ 農産物は、本質的には「自然からの贈与」。

■ それが農業(産地=土地の物語、農産物=生産プロセス、生産者(職人)=人の物語 等)を通じて価値が増大。さらに年月でも

➤増大している「価値」は、美味しさだけではない。ユーザーが認めているのは、農産物の何かしらの(文化的な?)価値。

農業と表現

農業生産の持つ文化的側面



農業における「生産」とは「自然からの贈与」を意味している。
よって、農業において、
「労働は、農産物を生産するためというより、贈与への返礼」の形である。
★そのため、オーバーアチーブとなる。
(『哲学するレストランール』橘真著より、陳内意訳)

寿司屋で働いていても、回転寿司の機械の世話をするのが
仕事というような働き方から、職人として数十年働いて身につく
ような働き方もある。

同様に、農家のあり方も、生産者という人から、農業文化人
としての農家というあり方もある。

(酪農学園大学 教授 西田丈夫)





(撮影者：陳内秀樹)



(撮影者：陳内秀樹)



(撮影者：Ryu Take)

著作物（的文化的所産）の伝達の仕方

	創作・表現者の身体性	ある意味、著作物	体験者の身体性
例1	音楽家（両手と五感で表現）	音楽	視聴者（視覚・聴覚などの五感で）
例2	小説家（感じ考えたこととを表現）	小説	読者（視覚などの五感で）
例3	農家（自然の恵みを引き出す）	農作物	消費者（味覚や視覚、嗅覚などの五感で）
例4	農家（自然の恵みを引き出す）	水田	体験者（触覚などの五感で） 例：素足で田植え体験
例5	ワイナリーのワイン職人	ワイン	ソムリエのマリアージュによって、五感+α

同一規格大量生産による産地化の取り組みは、生産性が高まった反面、農作業から、文化的側面（「大いなる物語の喪失」、かけがえのないもの）を取りはらってしまった。（橘真氏）

文化には、人を選ばないものと、体験するために習熟を必要とするものがある。
農産物も、また同じ、価値を感じるためには、五感の鋭敏さ、文化に対する意識の高さがある。

農業と表現

画家



(本質的には)売れるためではなく、表現したくて描いている。

純粹美術

(Fine art / Hi art)



応用美術 / 大衆芸術

(Applied art / Low art)

(商用デザイン等)

農家 (篤農家)



(本質的には)売れるためではなく、自分のこだわり(目指す農産物を。昨年より、よい物を)で作っている。

純粹農業？

(Agriculture as Fine art)



生産農業 / マスプロダクト

(大量生産)

農業と表現

創作・表現活動

生産者

農産物 + 情報
例: コンビニ弁当 (補給)

消費者

売るための情報
(顧客吸引を狙ったもの、
例えば、POP、パッケージ
デザイン。
本で言えば、奥付や帯)

農業文化人
としての農家

農産物(もしくは田畑)
に化体した文化的何か
例: 料亭会席(料理)

違いの分かる
消費者

売るための情報ではなく、
農産物に化体しているもの
の文化的所産(表現されて
いないかもしれない)

CF: 思想家

言論としての
文化的所産

CF: 読者(共鳴者)

文化的な受信力
(知的、精神的なことに喜びを感じる力)

農村に潜在する知財をどう守るか（どうやって消費者に支えてもらうか）



伝統製法・農村文化・伝統芸能
(農村に潜在する失われつつある知財)



第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

- 1 はじめに ～山口大学は知財教育の拠点大学～
- 2 人材育成事例 ～教材・指導例～
 - (1)高校生向けセミナー教材
 - (2)「知的財産入門」・学部1年生向け
 - (3)農業と知的財産
 - (4)標準化と知的財産**
 - (5)技術経営と知的財産
- 3 まとめに代えて ～学生の変化と社会人向けへの展開～

山口大学 知的財産センター

陳内 秀樹

「標準化と知的財産」の授業内容

	項目	内容
第1週	第1章 標準化とは	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化はインターフェースを実現 ・標準化の目的 ・標準の種類別の役割と認証 ・国際規格の重要性 ・最近の基準認証政策の取組とJISCの活動 など
第2週	第2章 その歴史的トピックと現代 第3章 標準化のビジネス効果	<ul style="list-style-type: none"> ・1717年 マスケット銃モデル1717の標準化 ・1861～1865年 南北戦争 ・1887～1892年 エジソン対ウェスティングハウス ・1908年 T型フォード発売 など
第3週	第4章 デファクトスタンダードの事例	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化のビジネス効果 ビジネス効果、製品標準のメリットとデメリット、ネットワーク外部性 スイッチングコスト ・デファクトスタンダードとコンセンサススタンダード ・AV分野でのデファクトスタンダード競争
第4週	練習問題1 練習問題1～オープン・クローズ 戦略～	演習・グループワーク
第5週	第5章 サプライチェーンとインターフェースの 標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライチェーンと標準化 ・インタフェース標準化 IEEE1394 VS USBの例 等 ・インターフェース標準の設計 カセットボンベの標準化の例 等
第6週	第6章 試験方法標準・第7章 適合性評価と 認証	<ul style="list-style-type: none"> ・試験方法標準による差別化 と 試験方法標準のリスク ・クラス分け標準 と クラス分け標準のリスク ・適合性評価とは ・認証を使うメリット ISO9000、ISO14000 等
第7週	第8章 オープンイノベーションと標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・二つのタイプのオープンイノベーション ・知財と標準化のビジネス活用
第8週	練習問題2 練習問題2～特許と標準化の組 み合わせによるビジネス戦略～	演習・グループワーク

事例：冷蔵庫 ～試験方法がビジネスの成功を左右～

欧米では、日本の対流式冷蔵庫は売れない。なぜ？

	直冷式	ファン式
	※電子配布版にはイラストなし	※電子配布版にはイラストなし
特徴	冷却用の板から冷気が輻射	冷却用の板に風を当て、冷気送る
メリット	安価に製造。駆動部がないので壊れにくい。	霜がつきにくい。ドア開閉しても冷気の対流により温度が安定。
デメリット	霜がつきやすい。ドア開閉で温度変化しやすい。	仕組みが複雑ゆえに高コスト ファンの分、消費電力大

＜IECの消費電力測定方法規格＞

冷蔵庫の消費電力基準ではドアを開閉しないで消費電力を測る

⇒ 直冷型冷蔵庫の方が圧倒的に有利

IEC委員会



日本代表

叫び続けて10年

2015年 冷蔵庫の消費電力測定方法規格改定

<https://oshiete.goo.ne.jp/qa/10419291.html>

練習問題9

- 冷蔵庫のIECでの消費電力測定方法規格は改定に10年もかかった。
(2015年改正)

どのように対応すれば、欧州の反対を、合理的な理由で否定できただろうか。

あなたが日本代表ならどうする？
何と主張する？

IEC委員会

冷蔵庫のドアを、開けなくて使うのか！



日本代表

第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

- 1 はじめに ～山口大学は知財教育の拠点大学～
- 2 人材育成事例 ～教材・指導例～
 - (1)高校生向けセミナー教材
 - (2)「知的財産入門」・学部1年生向け
 - (3)農業と知的財産
 - (4)標準化と知的財産
 - (5)技術経営と知的財産**
- 3 まとめに代えて ～学生の変化と社会人向けへの展開～

山口大学 知的財産センター

陳内 秀樹

「技術経営と知的財産」の授業内容

	項目	内容	授業外指示
第1週	ガイダンス 技術経営の沿革, 基礎的な用語・考え方の解説	0 ガイダンス 1 MOTへの誘い(基礎用語等) 2 リーダーシップとマネジメント 3 イノベーターのロールモデル 4 リーダーシップのメンテナンス機能 5 問題志向アプローチと解決志向アプローチ	
第2週	リーダーシップとマネジメントのロールモデル	1 リーダーシップとマネジメントのロールモデルを読解し, KJ法等でポイントを整理 2 SECIモデル, 状況対応リーダーシップ等によるモデルでの一般化	
第3週	アイデア発想の基本的考え方とフレームワーク思考1	1 アイデアのうみ出し方の基本的な考え方 2 チェックリスト法やTRIZ等のフレームワークを活用したブラッシュアップについて学ぶ。	
第4週	アイデア発想の基本的考え方とフレームワーク思考2	実際に, 課題を発見しその課題解決を図るアイデア発想を行い, そのブラッシュアップを行う過程を通じ, 発明の手順を体験する。	宿題: 考えた発明を「課題発見・アイデア発想シート」にブラッシュアップする。
第5週	事業競争力・ビジネスモデルと知財マネジメント	1 社会や経営の変容に伴って, 競争力をもたらずイノベーションが求められていることを認識し, 知財マネジメントの重要性を学ぶ。 2 ビジネスモデルの類型を学び, その類型別の知財マネジメントのあり方を学ぶ。	
第6週	ブランドの知財マネジメント	商標だけに留まらない知財ミックスによるブランド作りとその強化と持続的な競争力の維持について学ぶ。	
第7週	まとめ1 ビジネスモデルキャンパスの活用	本科目で得た知識を活かし, 自分の発明を, ビジネスモデルキャンパスで社会実装を想定し整理する。	
第8週	まとめ2 試験とレポート	試験20分, 最終レポート40分, 共有20分	

知財を駆使したアイデア発想ワークシート

お名前(ニックネーム)
若き日の岡田氏

①一言で言えば何？
 刃のすみずみま
 で使える
 もったいなくない
 カッター



②解決したいことは？
 (もしくは活用する特産品は？)

角の尖った刃を
 交換なしに、
 作業中に得る

③ターゲットは？

印刷業？家庭？

④イメージを膨らませてみよう(思い浮かべたことを書き出してみよう)

どんな工夫がある？	 <p>特許権 ・実用新案権</p>
どんなデザイン？	 <p>意匠権</p>
どんなネーミングにする？	<p>商標権 OLFA</p>
物語性伝えたいことは？	<p>おしゃれなイメージ、エコで怪我も減るような... (先進的)</p> <p>著作権</p>

⑤最終的な商品イメージは？



⑥気づき・課題
 (ほんとはもっとうちしたい)

学校用や、製図用などの展開。一部の特許をオープンにして標準化

第4回中国地域スマート農業モデル研究会

日時 2022年3月14日(月) 10:00~12:00

場所 ホテルセンチュリー21広島 2階「フォルザ東」 広島市南区的場町1-1-25



教職員の組織的な研修等の
共同利用拠点(知的財産教育)
H27.7.30~R5.3.31

中国地域スマート農業ラボ（山口支部）2

山口大学の知財教育～人材育成の観点から～

- 1 はじめに ～山口大学は知財教育の拠点大学～
- 2 人材育成事例 ～教材・指導例～
 - (1)高校生向けセミナー教材
 - (2)「知的財産入門」・学部1年生向け
 - (3)農業と知的財産
 - (4)標準化と知的財産
 - (5)技術経営と知的財産
- 3 **まとめに代えて** ～**学生の変化と社会人向けへの展開**～

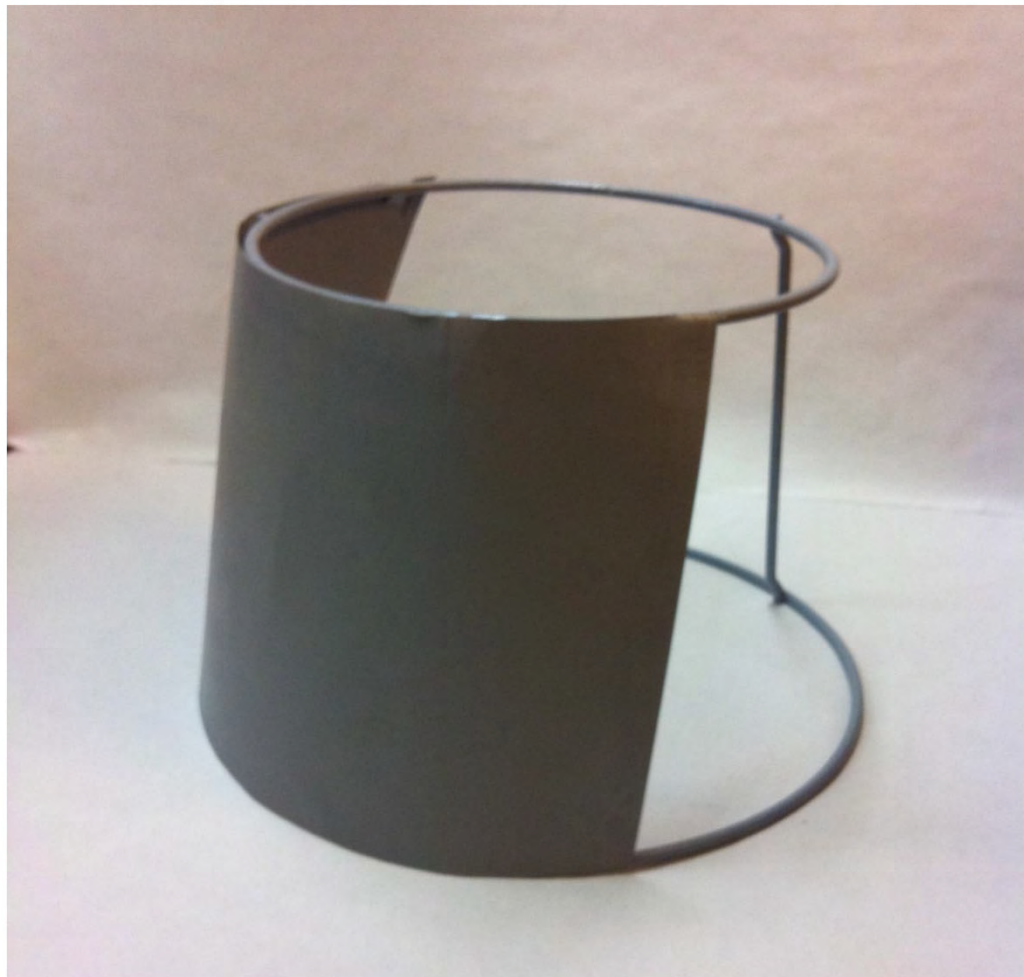
山口大学 知的財産センター

陳内 秀樹

高校生の意匠登録事例

2011年度デザインパテントコンテスト入賞作品→意匠登録

植木鉢台



植木鉢への
直射日光を
防ぐ



山口大学学生の変化

山口大学のケース



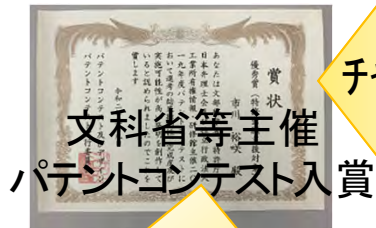
農学部 市川君(当時1年生)
日本中を回って昆虫採集
自分の部屋には壁一面の
昆虫標本。

- ・知的財産入門(必修)
- ・ものづくりと知的財産
- ・農業と知的財産

夢中さ (好き×行動力)

知財創造教育の科目を履修

特許6808866
アシナガバチ類用飼育容器



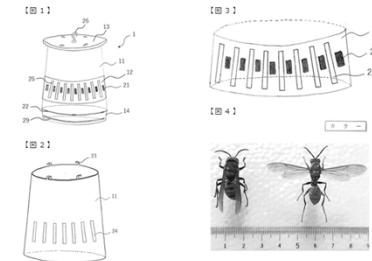
チャレンジ

アシナガバチは、益虫。
天敵のスズメバチから守
る巣箱を発明しよう！

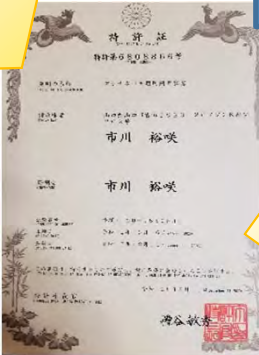
創造性 (知識を応用し
課題解決)

【請求項1】

上部及び下部に開口部を有する円錐台形の
本体と、当該本体の外側を被覆し、当該本体に
対してスライド可能なカバー部と、当該本体上
部に着脱自在に連結する天板と、当該本体の
下部に着脱自在に連結する底面部を備え、本
体及びカバー部には一又は複数の出入り穴が
設けられていることを特徴とするアシナガバチ
類用飼育容器。



特許
取得



TLOで
試作品と企業マッチングを
支援

進路に広がりと深まり

■ 知財系の進路を希望する学生が出始めた

- 知財を武器に就活
- トヨタテクニカルデベロップメント(TTDC)、日本規格協会(JSA)等

■ 人材育成と地域振興を胸に農業高校教員を志望

- 人材育成のあり方次第で、衰退し続ける故郷は変わる！
- これからの農業教育のあり方を志を持って自分の言葉で語る。

山口大学知財教育プログラム(履修証明プログラム)募集

ものづくり知財コース

特色

以下のものが身に付けられます

- ものづくりに関する知的財産全般の法律知識、初歩的な実務対応技能
- ものづくり系知的財産情報の検索技術から情報分析に必要な入門知識と技能
- 企業の知的財産（技術、ブランド等）を活用して効果的にビジネスにできる能力
- 知的財産のリスク管理を行う能力

シラバス

※[山口大学シラバス](#)より検索できます。

その際、科目名に「知的財産入門」、その他の科目は「知財展開科目」と入力してください。

必修	<ul style="list-style-type: none"> • 知的財産入門[科学技術と社会] (1単位) …常盤、2日間の集中講義 模擬授業動画※教材 (授業動画を含む) 内で視聴できます。 • 特許法 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • 意匠法 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • 商標法 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • 不正競争防止法 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • 標準化と知的財産 (1単位) …吉田、2日間の集中講義
選択必修	<p>※選択必修科目から2単位以上を修得</p> <ul style="list-style-type: none"> • 著作権法 (1単位) 著作権法 …吉田、2日間の集中講義 • ものづくりと知的財産 (2単位) ※同内容にて常盤・吉田キャンパスで2回開講。どちらを受講してもよい。 ものづくりと知的財産 …常盤、吉田共に4日間の集中講義 • 知財情報の分析と活用 (2単位) ※同内容にて常盤・吉田キャンパスで2回開講。どちらを受講してもよい。 知財情報の分析と活用 …常盤、吉田共に4日間の集中講義

コンテンツ知財コース

特色

以下のものが身に付けられます

- コンテンツ産業に関する知的財産全般の法律知識、初歩的な実務対応技能
- コンテンツ知的財産情報を把握する技術から、それらを統合した作品制作
- マネジメントについての必要な入門知識と技能
- 企業の知的財産（著作物、技術、ブランド等）を活用して効果的にビジネスにできる能力
- 知的財産のリスク管理を行う能力
- コンテンツプロデューサー養成時の基本的知識

シラバス

※[山口大学シラバス](#)より検索できます。

その際、科目名に「知的財産入門」、その他の科目は「知財展開科目」と入力してください。

必修	<ul style="list-style-type: none"> • 知的財産入門[科学技術と社会] (1単位) …常盤、2日間の集中講義 模擬授業動画※教材 (授業動画を含む) 内で視聴できます。 • 著作権法 (1単位) 著作権法 …吉田、2日間の集中講義 • 意匠法 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • 商標法 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • 不正競争防止法 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • コンテンツ産業と知的財産 (2単位) …吉田、4日間の集中講義
選択必修	<p>※選択必修科目から1単位以上を修得</p> <ul style="list-style-type: none"> • 知財情報の分析と活用 (2単位) ※同内容にて2回開講。どちらを受講してもよい。 知財情報の分析と活用 …常盤、吉田共に4日間の集中講義 • 農業と知的財産 (1単位) …吉田、2日間の集中講義 • 標準化と知的財産 (1単位) …吉田、2日間の集中講義

https://kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/chizai/?page_id=2466

